

巻末資料 4

ケアの質を高めるための
教材・ツール・情報
(DCnet)

1

認知症介護情報ネットワーク「DCnet」

認知症介護研究・研修センターは、わが国の認知症介護の質向上の拠点として、全国3か所（宮城県仙台市・東京都杉並区・愛知県大府市）に設置されています。センターでは、認知症介護に関する総合的研究や認知症介護指導者の養成等を推進し、その成果を全国へ発信・還元するよう努めています。

認知症介護情報ネットワーク（DCnet）は、認知症介護研究・研修センターが運営するウェブサイトです。認知症介護に関する情報共有化、研究の促進、教育支援などを行うことを目的として構築された情報ネットワークとして位置付けられています（<http://www.dcnnet.gr.jp/>）。

認知症介護研究・研修センターが行った調査研究事業の成果の詳細、および研究事業によって開発された教材やツール、進行中の事業の情報等は、DCnet上で順次公開しています。ここでは、それらのうち、養介護施設・事業所における認知症介護の質の向上に資すると思われる主なものを紹介しています。

2

掲載している主な学習資料

2.1 ひもときねっと

厚生労働省事業を受託して実施された「認知症ケア高度化推進事業」(2008～2010年度)の成果を紹介しています。本事業は、認知症の方々や、その家族のニーズに適切に対応するため、国内外の実践例及びその効果に関する情報の集積・分析・評価を行い、情報発信を行うことで認知症介護現場のケアの向上を図るものです。

本事業により開発された「ひもときシート」は、認知症介護において援助者の思考を「ひもとき」、適切な支援を展開できるように支援するツールです。具体的な事例をもとに学んでいくことができますので、個人や職場での学習に用いることができます。「ひもときシート」を含め、「ひもときねっと」ではさまざまなツールや資料を閲覧・ダウンロードすることができます。

2.2 知ってなるほど！塾：Web 学習による認知症基礎講座

「知ってなるほど！塾」は、Web 学習システムにより認知症介護に関する基礎的な知識の習得を支援することを目的に開発されたものです。ウェブサイト上に示される、ナレーションとアニメーションによって内容を解りやすく表現した教材を利用することができます。教材は、事例をもとに内容を理解するという構成になっています。また最後に、「自己確認テスト」を行うことによって学習の理解度を確認することができます。各単元を10～15分程度の短い時間で区切って学ぶことができます。

2.3 センター方式「『いつでも』 ネット」

「『いつでも』 ネット」は、「認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式」にもとづく取り組みの情報サイトです。センター方式によるケアマネジメントに関する解説のほか、センター方式シートの公開、活用事例の紹介、研修会や実践報告の案内などを行っています。

2.4 DC 博士のワン・ポイント

「DC 博士のワン・ポイント」は、認知症介護に関わる事項について、わかりやすく簡潔な解説をまとめたものです。「パーソンセンタードケア」「スクリーニングテスト」「若年認知症」など、認知症介護に携わる際に必要な知識について、認知症介護研究・研修センターのスタッフを中心に解説を行っています。

2.5 ケアケア家族 .com

「ケアケア家族 .com」は、訪問や通所によるケアサービスの従事者やケアマネジャーなど、在宅での介護を支援する人材を育成するための取り組みを紹介するものです。養護者による虐待の未然防止を含めた、必要な研修システムや教材を開発し、その公開を行ったり、研修会等の開催状況を案内しています。

2.6 「大府センター式」コミュニケーションパック

「大府センター式」コミュニケーションパックは、地域包括支援センター職員が、介護家族との相談場面で活用するものです。介護家族とともに認知症のご本人の行動の理由を知るために、背景となるいくつかの要因に沿って、考え方を整理することができるツールであり、本サイトではこのカギとなる「相談シート」を中心に使い方等を紹介しています。

2.7 初めての認知症介護 『食事・入浴・排泄編』・解説集

食事・入浴・排泄ケアの場면을題材に、認知症ケアに従事する初任者が、困難さを感じやすい場面において、どのような視点をもってケアの方法を考えていけばよいかを示したものです。初任者の自己学習資料・教育担当者の指導参考資料として、認知症介護チェック表と解説集が用意されています。

*2.1～2.6は、DCnet トップページにそれぞれのバナーが表示されています。2.7は「介護研究」ページから「センター研究報告書」→仙台センター「平成21年度」へ進むと閲覧することができます。

3

研究成果へのアクセス

DCnet では、前節で紹介したもののほか、認知症介護研究・研修センターがこれまで実施してきた、調査研究事業の成果を閲覧・ダウンロードすることができます。

研究成果は、仙台・東京・大府の各センターごと、また各年度ごとに整理されています。DCnet トップページから「介護研究」ページに進むと、研究成果の紹介ページが表示されます。研究成果の詳細や各センター・各年度の成果物等を確認する場合は、同ページから「センター研究報告書」ページに進んでください。

なお、本書の作成を含む研究事業をはじめとして、高齢者虐待防止に関する調査研究事業の詳細な結果（研究事業報告書）や成果物についても、上記の手順で確認することができます。

4

研修・イベント等の案内

4.1 認知症介護指導者養成研修

認知症介護指導者養成研修は、認知症介護実践研修を企画・立案し、研修を実施するとともに、介護保険施設・事業所等における認知症介護の質の向上、および地域資源の連携体制構築の推進等に必要な能力を身につけ、認知症者に対する地域全体の介護サービスの充実を図ることを目的とした、指導者を養成する研修です。本研修の概要については、DCnet 内の「介護者研修」ページで紹介しています。また、各センターでの実施予定等については、「センター情報」でセンターごとに掲載しています。認知症介護指導者の紹介等も行っています。

4.2 研究成果報告会・市民講座等

認知症介護研究・研修センターが主催する研究成果の報告会や一般市民むけの講座、その他の研修会等の情報は、「イベント情報」ページおよび各センターの「センター情報」に掲載しています。

4.3 認知症ケアマッピング（DCM）法研修

認知症ケアマッピング（DCM）法はパーソン・センタード・ケアの考え方を基本にした認知症ケアの手法で、英国ブラッドフォード大学が認定する、基礎コースと上級コースの研修が行われています。本研修の概要は DCnet 内の「介護者研修」ページで紹介しています。また、実施予定等については、「イベント情報」ページおよび大府センターの「センター情報」に掲載しています。

5

関連サイト

5.1 「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン

厚生労働省の「認知症を知り地域をつくる10ヵ年」の構想のもと、認知症の方とご家族を地域の中で支える「地域づくり」をめざす「認知症を知り地域をつくる」キャンペーンの一環として行われている活動を紹介しています。民間の有識者や団体を中心とした「認知症になっても安心して暮らせる町づくり100人会議」の支援をうけ、認知症の人とともに暮らす町づくり活動を募集し、全国に紹介しています。発表会等の案内も掲載しています。

5.2 若年性認知症コールセンター

若年性認知症に関する情報をまとめています。大府センターに設置されている、さまざまな相談を受け付けるコールセンターの紹介のほか、Q&A を含む若年性認知症の解説、支援や活動の情報、書籍紹介などを行っています。

5.3 評価で GO ! ネット

地域密着型サービス評価に関する、さまざまな情報をまとめています。サービス評価に関する解説や研修会等の案内、評価機関や書籍等の情報等が掲載されています（NPO 法人地域生活サポートセンター評価推進プロジェクト）。

6 その他の情報

DCnet では、これまで紹介したもののほか、行政情報など、認知症介護に役立つさまざまな情報も掲載しています。

*2011（平成23）年度現在、東日本大震災への支援に関する情報を掲載しています。